

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上 弘美 代01466-2-2525

http://www.town.erimo.lg.jp/section/

kyouiku/sg6h94000000pqh.html

学会大会で最優秀賞

えり高出身の帯畜大学院生・吾田さん

○国立帯広畜産大学院博士前期課程1年の吾田（あずた）佳穂さん（23歳）が、「野生生物と社会」学会大会（昨年11月、石川県）で最優秀ポスター賞に輝きました。

○野生生物と車の衝突事故（ロードキル）を防ぐ研究をポスターにまとめ、注意点を呼びかけました。吾田さんは、「ロードキルは身近な問題。少しでも減らせるよう研究を続けたい」と話していたようです。

○この記事が令和2年1月22日の十勝毎日新



間に大きく掲載されました。

○吾田さんは、5年前にえりも高校を卒業し、難関の同大に見事合格、現在、大学院へ進んで勉学に励んでいます。

○えりも高校時代には、風極プロジェクトサークルに所属し、えりも町を紹介する案内パンフレットを作成するなど、えりも町に大きく貢献していました。えりも高校卒業の吾田さんにメールを送ります。

東洋小学校の児童が防災マップをさらに改善
地域に広げる素晴らしい発信が続けられています。



○昨年、東洋小学校の3・4年生が「東洋っ子防災マップ」を作成し、北海道教育長表彰を受賞しました。

○今年は、それぞれの地区の人がどこに避難したらよいかを加えて一目で分かるマップに改善して作成しました。

○この作品は全道に紹介され、子供たちが地域の防災意識を高めた例として評価されています。

○また、東洋小学校の作品を参考にして、今年度は庶野小学校の5・6年生が庶野防災マップを作成しました。

各地区にお願いしたこと
いつ起こるか分からない地震と津波、各地区が学校の活動と一緒に参加し、地域ぐるみの活動となり、そのことが防災をみんなで意識し行動地できる地域の絆に結びつく一つになることを願っています。

○本年度の取組を振り返りますと、岬地区では、連合自治会が「地区の漁業を沖止め」にして、多くの人が集まるよう工夫しました。

○柏・あけぼの・新栄・みどり地区では、自治会長さんが呼びかけて、児童と一緒に2次・3次避難で小高い丘まで登りました。疲れることや速さがわかりました。

○また、庶野地区では、丘に保育所があるので、児童と一緒に避難し、そこでビデオをみて津波について幼児・児童・大人が一緒に学びました。

○このように、その地区地区で「もしそうなったら、どうするか」実体験して学ぶことができました。

○多くは、東北の大津波のように、まずは『てんでんこ』で、一人一人が高いところに避難することが大切です。様々なことが想定されるとき、えりもにとって、その準備を地域一体となって取り組んでおくことが何よりも必要と考えています。

やればできる
学校生活と家庭生活の習慣化
えりも・庶野の両放課後児童クラブ
の子どもたちが、家庭学習に取り組む
習慣ができてきました。

○えりも（市街地）と庶野の放課後児童クラブで力を入れてきたことの一つに、児童クラブでの学習の習慣化です。

○児童は直接、学校から児童クラブに来ます。そして、夕方6時まで過ごし、保護者が仕事の帰りに迎えにきて家庭に戻ります。

○家庭に戻るのには、多くは6時半くらいになりますから、それから、食事や風呂などを済ませると8時過ぎになり、ようやく落ち着きます。

○そこで、児童クラブでは、預かっている間、学校の宿題やドリルなどを自らが始める習慣づくりを昨年度から続けていましたが、2年目の今年は、子どもたちがすぐ言われなくても学習に取り組む習慣が身につけてきました。

○児童クラブでの家庭学習の時間について

～M・Kさん（2年）～

クラブでべんきょうしているときの気持ちは、みんなとできるので一人でやるよりたのしいです。ほかにクラブでべんきょうしていたのしいことは、むずかしいことがあればおしえてもらえることです。

～Y・Nさん（1年）～

じどうクラブでがくしゅうじかんにしゅくだいできたことにたいしてかんじたことは、せんせいがよくわからないこと、それから、いろんなことをやさしくおしえてくれて、まなべたことです。児童クラブの先生たちがやさしくたすけてくれたことに、かんしゃしています



～Y・Nさんのお母さん～

学習時間があることで、毎回宿題など全て終了して帰宅しています。難問があると先生方のご指導のお陰で「理解することができた」と喜んでおります。今でも児童クラブを楽しみにしている姿を見ることをうれしく思っております。

～S・Kさん（2年）～

クラブでべんきょうをしているときの気持ちはむずかしいですが、たのしい気もちです。クラブでべんきょうしていたのしいことは、友だちときょうりよくしてべんきょうができることです。クラブでべんきょうをして、うれしいことは、しゅくだいがぜんぶおわって、先生に見せたら、ぜんぶあっていたことです。クラブでべんきょうをしてわからないところは、さんすうです。とくに、さんすうがにがてで、むずかしいのでわからないことがあります



～K・Sさん（3年）～

わからないことは先生にやさしくおしえてもらって楽しく勉強しています。クラブで勉強したら家に帰ったら勉強しないでいいから、そこがいいところだと思いました。